

# あくろいし 市議会だより



## 全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会から市議会議員として長きにわたり市政の振興に尽くされた功績により、30年表彰を工藤禎子議員と中田博文議員が、10年表彰を大久保朝泰議員が受賞しました。



## 目次

定例会の概要など・・・2～3

定例会一般質問など・・・4～6

委員会活動報告など・・・7

議会報告会など・・・8

## 平成29年第2回定例会の概要

平成29年第2回定例会は6月8日から20日までの13日間にわたって開かれ、市長提出の18報告・6議案、議員提出の2議案を慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・報告・可決・同意いたしました。各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は下記をご覧ください。  
また、任期満了に伴い、各常任委員会、議会運営委員会、各特別委員会の改選が行われました。

### 議員提出議案第2号

#### 「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の 補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出について

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の嵩上げ措置については、平成29年度末で終了するため、平成30年度以降も継続するとともに、地方創生を果たすために必要な道路整備推進が図られますよう、補助率等の拡充・見直し等の措置を求めるものであります。

全会一致により原案可決

### 議員提出議案第3号

#### 青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画（案） の再考と決定の延期を求める意見書の提出について

「青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画（案）」で統廃合の対象となった、県立黒石高等学校と県立黒石商業高等学校の再編計画が、長期計画も示されず将来像が見えない中、4月に5年後の計画案が発表され、7月に決定することは余りにも早急すぎるため、再考と決定の延期を求めるものであります。

全会一致により原案可決

### 第2回定例会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧（○は賛成、●は反対）

番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
報告第8号	黒石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	承認
報告第9号	黒石市税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	承認
報告第10号	黒石市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	承認
報告第11号 ↳ 報告第14号	道路施設の管理瑕疵による事故に係る和解について	○	○	○	○	○	報告
報告第15号 ↳ 報告第16号	権利の放棄について	○	○	○	○	○	報告
報告第17号	平成28年度黒石市下水道事業会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	承認



番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
報告第18号	平成28年度黒石市一般会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	承認
報告第19号	平成28年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	承認
報告第20号	平成28年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	承認
報告第21号	平成28年度黒石市簡易水道特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	承認
報告第22号	平成28年度黒石市温泉供給事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	承認
報告第23号	平成28年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	承認
報告第24号	平成28年度黒石市水道事業会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	承認
報告第25号	平成28年度黒石市一般会計繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	○	○	報告
議案第46号	黒石市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	黒石市監査委員条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	黒石市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第51号	平成29年度黒石市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第2号	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第3号	青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画（案）の再考と決定の延期を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	原案可決

### ●常任委員会（平成29年6月20日現在）

（議案等を詳しく審査するために設置され、各議員は必ずいずれかの委員会に属しています。任期は2年です。）

#### ・総務教育常任委員会

委員長	大久保 朝 泰	副委員長	三 上 廣 大	委 員	佐々木 隆
委 員	福 士 幸 雄	委 員	中 田 博 文	委 員	村 上 隆 昭

#### ・経済建設常任委員会

委員長	工 藤 和 行	副委員長	工 藤 和 子		
委 員	北 山 一 衛	委 員	高 橋 美 紀 子	委 員	村 上 啓 二

#### ・民生福祉常任委員会

委員長	大 溝 雅 昭	副委員長	今 大 介		
委 員	工 藤 禎 子	委 員	後 藤 秀 憲	委 員	工 藤 俊 広

### ●議会運営委員会（平成29年6月20日現在）

（議会運営に関する事項を調整する委員会で、議長の諮問に応じ諸々の問題を協議します。任期は2年です。）

委員長	村 上 啓 二	副委員長	工 藤 和 行	委 員	今 大 介
委 員	佐々木 隆	委 員	後 藤 秀 憲	委 員	大 溝 雅 昭

### ●特別委員会（平成29年6月20日現在）

#### ・議会改革推進特別委員会

（議会改革を総合的かつ計画的に推進するために設置されています。任期は2年です。）

委員長	大 溝 雅 昭	副委員長	大久保 朝 泰	委 員	今 大 介
委 員	後 藤 秀 憲	委 員	福 士 幸 雄	委 員	中 田 博 文

#### ・議会だより編集特別委員会

（議会だよりの発行を通じて、市民の理解と認識を深めることを目的として設置されています。任期は2年です。）

委員長	工 藤 俊 広	副委員長	工 藤 和 行	委 員	三 上 廣 大
委 員	高 橋 美 紀 子	委 員	今 大 介	委 員	工 藤 和 子





# 第2回定例会一般質問

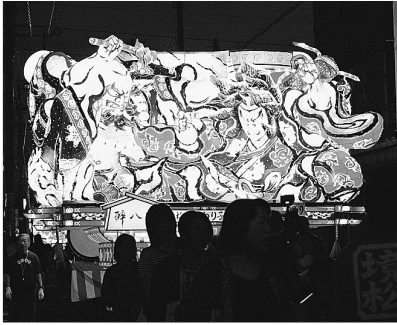
一般質問は、6月15・16日の2日間行われ、9人の議員が市の諸問題についての質問をしました。



**新政会**  
三上 廣大 議員  
(二問一答方式)

**問** 黒石ねぶた祭りについて人形ねぶた台数減少対策は。

**答** 今年の合同運行参加申し込みでは人形ねぶたは3台の申請となっており、台数減の対策としてこれまで黒石青年会議所と協議を重ね、黒石市人形ねぶた製作運行奨励補助金交付要綱を改正致しました。交付額については、人形ねぶた1台の上限を12万円から20万円へ引き上げました。今後とも引き続き黒石青年会議所とも協議を重ね、できる事から対応してまいりたいと考えております。



こみせ通りを彩る黒石ねぶた

**問** 全市の危機管理について全国瞬時警報システム(Jアラート)市内設置状況について

**答** Jアラートは弾道ミサイルや緊急地震速報など時間的余裕の無い事態に関する緊急情報を本市の防災行政無線を自動的に起動させることにより、市民へ瞬時に情報を伝達するシステムであり、当市ではこの情報を流す屋外スピーカーを市庁舎屋上、10地区各公民館など計16ヶ所に設置しており、有事の際に市民に対し、情報伝達を行うこととなっております。



**自民・公明クラブ**  
工藤 和行 議員  
(二問一答方式)

**問** 高等学校再編について青森県教育委員会から県立高等学校再編の第一期実施計画案が示され、県内各地で地区懇談会が行われたが、反対や疑問の声が上がっている。計画案に対する市長の考えをお聞きたい。

**答** 県立高等学校再編実施計画案に対して、議会において私見を述べることは適当ではないものと考えますが、「5年後、10年後の青森県をどのような姿にしたいのかを示し

た上で高校再編案を説明しなければ、単なる数合わせしか見えない。」と先の市町村会議で発言しました。

また、本県の未来を担う人材を育成するため、主要な役割を担う高等学校が再編計画案では都市部に集中し、このことが波紋を広げる結果になったものと感じております。

いずれにしましても、黒石市及び近隣の市町村の学生がこの地域の将来を担うために、良質で十分な教育を受けられる環境となるよう、慎重な対応を求めて参りたいと考えております。



**高佑会**  
高橋美紀子 議員  
(二問一答方式)

**問** シビックプライド(そのまちに住む人、働く人、気に入っている人が、そのまちに誇りや愛着を持ち、自分がそのまちを形成する当事者であるという意識をもって自発的に、まちをより良いものにするための取り組みに積極的に関わること)に関する教育について。これからの取組は?

**答** 郷土愛をもって自主的に

地域づくりに参画する人づくりに取り組むため、地域活動に参画する住民の学習支援等、社会教育、公民館事業を進め、地区団体や住民の方々に対し、歴史を学ぶ機会や文化継承を目的とした事業を継続し、住民自らが考え、自主的に行動することが出来る活動支援を進めて参ります。

**問** 自然栽培の取組とこれからの方向性について。

**答** 自然栽培に関する知識や技術を正しく理解できるように情報の収集、提供を行い、自然との繋がりを重視した取り組みを通じ、差別化や競争力のある農産物生産を推進してまいります。

### 〈その他の質問〉

**問** 観光振興について、広報戦略について。産業振興について、6次化とムツニシキにおける現状、成果、課題について。



**黒石市民クラブ**  
福士 幸雄 議員  
(一括方式)

**問** 機構改革について

行革大綱に基づく機構改革の実施を。統廃合を繰り返す機構改革にはわかりやすい説明





が必要なのは。

○ 行政需要に対応するため組織の見直しが必要な場合はスクラップ・アンド・ビルドを原則とし、組織の肥大化抑制に努めています。

○ 観光宿泊客誘致の取り組み等について。

○ 平成28年の市内宿泊施設の宿泊者数は4万6614人。稼働率は一部を除いて伸び悩んでいる状況にあります。宿泊施設の情報パンフレットや市のホームページに掲載し、PRを図っており、観光協会ホームページでは施設情報に加え、空き室状況照会も可能になっております。



自民・公明クラブ  
工藤 俊広 議員  
(一問一答方式)

○ 高齢者地域見守り事業についての直近の状況と緊急時の対応は。

○ 1か月で安否確認が出来なかつた人数が業者委託の時は10地区で約160人、地域での見守り実施後は5月末現在、8地区で約20人です。緊急時の対応については、原則として一人では室内に入らず

民生委員児童委員や近所の人等と複数で対応に当たる事としています。救急の搬送が必要な場合は救急車の手配後に市役所への連絡をお願いしています。今後も地域の皆さんの意見を取り入れ改善を図ってまいります。

○ 年金制度の改正による新たな年金受給者数は。

○ 新たな受給資格者は278人です。

○ 財政の見通しについて

○ 一般会計の平成28年度決算で元利償還金が約20億6千万円で実質公債費比率が22%台となっております。今後、学校建設等で地方債の借り入れ増と財政調整基金の取り崩しが行われますが、平成31年度決算では元利償還金が約15億4千万で実質公債費比率は17%台となる見通しです。



自民・公明クラブ  
大久保朝泰 議員  
(一問一答方式)

○ 育児休業を取得すると保育時間が標準時間から短時間に変更になるのはなぜか。

○ 保育必要量については、保育を必要とする事由や保護

者の状況に応じて、1日11時間までの保育標準時間と、1日8時間までの保育短時間に区分され、子ども・子育て支援法施行規則に基づき、市が設定することになっていきます。育児休業取得者については、保育利用時間に保護者が在宅していることを考慮し、保育短時間で認定しています。

○ 市民運動会開催について

○ 市民運動会を開催することで、一市民一スポーツの普及・推進と各地区協議会の連帯感を図ることを目的として、8月27日に黒石運動公園に於いて開催します。種目については、8種目程度を予定しています。来以降も市民運動会を続けていきたいと考えており、今年度の運動会終了後、各地区の皆さんの意見等を参考にしながら検討して参ります。

○ カラス等の対策について

○ カラスの個体数の推移については、毎年9月2日に市内5地点に於いて調査を実施して、平成26年度1241羽、平成27年度1046羽、平成28年度1428羽を確認しております。平成28年度のカラスに対する取組みについては、カラス個体調査、ウルフンエキ

スや緑色のレイザーポイントによる追い払い、路上のふん清掃を行っているほか、ごみ集積所用防鳥ネット・折りたたみごみステーションを貸与して、カラスの餌絶ちをしています。

○ 平成29年度は、文化会館の屋上にテグスとウルフンエキスの設置を行い、金平成園にはウルフンエキスの設置を行って、カラスの追い払いを実施してまいります。



日本共産党  
工藤 禎子 議員  
(一問一答方式)

○ 米の生産数量目標の廃止・配分の廃止により作柄の変動で需給と価格の混乱が起きてくるのでは。

○ 平成30年度産から廃止されることとなります。青森県におきましても主食用米の作りすぎによる米価の下落を防止するため引き続き数量目標が必要と判断し、国が従来示してきました生産数量目標にかわる目安を独自に設定します。当市では黒石市農業再生協議会が中心となり主食用米や転作作物の作付け計画を作成し、需要に応じた適正な生産の推

移を図ってまいりたいと考えております。

○ 高齢者地域見守り事業について

○ 4月開始時は7地区であり、地域格差を生んだ形でなぜ見切り発車したのか。

○ 4月からの一斉スタートを目指して地区ごとに説明会を行いました。同時に開始することは難しいものとなり、随時体制が整った所からのスタートとなったことをご理解願います。

○ 今後開催する「市長と地区協議会との意見交換会」で実施してみたいの感触をテーマとさせて頂いておりますので、その時の意見を参考に今後の高齢者見守り事業について検証をしてまいります。



自民・公明クラブ  
大溝 雅昭 議員  
(一問一答方式)

○ 開校した黒石中学校の生徒の状況と通学の問題点は無いか。

○ 生徒の問題行動等は見られず、運動会や部活動で成果が上がっています。六郷地区



からのスクールバスの停車場所の冬期間の問題、東英からの路線バスが小さいなどの問題があり、今後、解決に向けて検討してまいります。

黒森山ウォーキングセンターの現状と青少年の森のこれからの活用は

利用者については、平成24年度は1350人でしたが28年度は一時閉館の影響もあり、270人となっています。青少年の森は昭和52年市内38団体が参加し青少年の森をつくる会が発足し、整備してきた経緯があります。現在一部を利用し醸造用ブドウの試験栽培をしていますが、今後もつくる会と連携して、活用してまいります。

黒石の観光の魅力は何か。

こみせ通りを中心とし、金平成園などの歴史ある建築物や庭園が残っており、よされ、ねぶたに代表される伝統的祭りが受け継がれ景観にマッチしているところが魅力です。外国人観光客は平成28年度市内19施設に1697人宿泊し、観光案内所の利用は153人です。企業向けのインバウンドの勉強会、外国人

留学生のモニターツアー、外国人向けの動画を製作しました。



黒石やきそばを楽しむ外国人観光客



自民・公明クラブ 中田 博文 議員 (一問一答方式)

市庁舎について建替えの見直し又は空き校舎を活用する等の考えは

建替えは庁舎機能分散後の利用者の利便性や、関係部署の連携を検証し、建替え場所、面積、手法を検討します。時期については明示できませんが、小学校の適正配置や給食の導入後、市の全体計画の中で検討します。

空き校舎を利用することについては、市街地活性化の観点等から除外しております。

公営(市営)住宅事業の交付金の内示額について。

当初要望事業額2億7400万円、(当初)要望交付金1億3426万円に対し、配分事業額1億8275万円、配分交付金8955万1千円で配分率は66.7%となっております。配分事業額を考慮した事業内容は住宅建設2LDK2棟4戸3LDK2棟4戸計4棟8戸を実施します。

3・4・7黒石環状線街路事業に係る交付金の動向について

当初要望事業額3億2700万円、(当初)要望交付金1億9423万8千円に対し、配分事業額8863万7千円、配分交付金5265万円で配分率は27.1となっております。配分事業額を考慮した事業内容は用地取得3件、建物移転3棟を実施します。

老人クラブの実態と活性化について

市老人クラブ連合会への補助金は年60万円で活性化の窓口としては、地域包括支援センターが中心となり、公民館等と連携して高齢者教室などの機会をとらえ、老人クラブのPRをするともに、仲間づくりの支援をしていきたいと考えています。

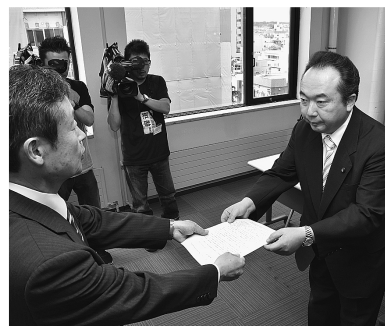
### 県立高校再編の延期と再考を求める意見書を提出

6月26日、北山一衛議長と工藤俊広副議長が「青森県立高等学校教育改革推進計画第一期実施計画(案)の再考と決定の延期を求める意見書」を県教育委員会の中村充教育長に提出しました。北山議長は再編案提出から決定されるスケジュールが性急すぎることや黒石商業高校の専門科目の再編の在り方などの意見を述べ、再編延期と再考を求め

### 西十和田トンネル建設促進市町村議長同盟会設立総会開催

7月18日、平川市温川地区と秋田県小坂町を結ぶ西十和田トンネル(仮称)の早期建設を図るため、西十和田トンネル建設促進市町村議長同盟会が設立され、会長に発起人の北山一衛議長が就任しました。同盟会は黒石市のほか、弘前市、十和田市、平川市、藤崎町、大鰐町、田舎館村、秋田県大館市、小坂町の9市町村議会議長で構成。今後

ました。その後、私たちの望む再編とはかけ離れた内容の報道がなされ、非常に残念です。今後も再編に対する県教育委員会の動きを注視していきます。



意見書を提出する北山議長

は、既に関係する市町村長で組織されている西十和田トンネル建設期成同盟会と協力し、青森県と秋田県の両知事に早期建設を求める陳情を行うことを申し合わせました。



抱負を述べる北山議長





### 経済建設常任委員会活動報告

7月4日、経済建設常任委員会（工藤和行委員長）は、旧黒石幼稚園解体工事と3・4・7号黒石環状線街路事業の進捗状況を視察しました。旧黒石幼稚園は、構造体新指標（Is値）0.24で大地震時（震度6強想定）に倒壊し、または崩壊する可能性が高いことから、今後の危険性を考慮し、今年度解体工事を実施する予定であり、解体後一括売却する計画とのことでした。

3・4・7号黒石環状線街路事業（黒石ガス東側交差点～りんご研究所西側交差点L=906.0メートル）では、りんご研究所側から360メートルが平成34年度から一部供用開始予定ということでした。事業の進捗に対する国からの補助金等、必要であれば議会として大きく要望するべきと感じました。



街路事業の進捗状況を確認

### 民生福祉常任委員会活動報告

7月20日、民生福祉常任委員会（大溝雅昭委員長）は、沖浦埋立処分地と津軽広域水道企業団の視察を行いました。沖浦埋立処分地では埋立計画完了予定が平成38年3月まで延長となり、その理由としては「各家庭のごみの分別が進んだ事と有料化によるごみの減量が大きい」と担当課から説明がありました。埋立計画完了のための最終土堰堤工事として事業費約5千万円が必要になることや計画完了後の最終処分等について意見交換を行ってきました。

津軽広域水道企業団に関しては、予定通り契約水量の見直しが行われる旨を確認しました。さらにダムから浄水場までの落差を利用した水力発電による売電で年間約7千万円の収入を予定していること、本年のダム貯水量が平年並みであり、水質も問題がないことを確認して視察を終えました。



沖浦埋立処分地視察の様子

#### ●議員活動報告

##### 自民・公明クラブ

村上 隆昭・中田 博文  
工藤 俊広・大溝 雅昭  
大久保朝泰・工藤 和行  
今 大介・北山 一衛

##### 視察先

富山県富山市  
長野県上田市  
(平成29年7月11～13日)

#### 【「おわら風の盆」踊りについて(富山市)「健康づくり事業」について(上田市)】

富山市では「おわら風の盆」踊りについて視察を行いました。毎年9月1日から3日まで行われ、昨年は約24万人の観光客が訪れる全国屈指の民謡行事でした。11町内に交通規制をかけて、それぞれが町内で朝まで踊り、また観光客も参加出来るものでした。小説に取り上げられた事で観光客が増えるきっかけとなったことから、当市の「黒石よされ」も、今後どのようにPRしていくかが課題であると考えました。

上田市では、健康づくりに対する市民の意識向上を図り、高齢になっても生活の質が落ちないように「健康幸せづくりプロジェクト事業」を行いました。健康づくりの拠点となる「ひとまちげんき・健康プラザうえだ」の設置や、市で主催する各種健診や健康づくりイベントに参加することでポイントを貯め、貯めたポイントで色々な特典がもらえるなどの取り組みでした。当市でも、健康マイレージ事業のポイントの活用方法を増やし、事業の拡大、市民の健康につなげていければいいと感じました。



ひとまちげんき・健康プラザうえだにて

#### ●議員活動報告

##### 黒石市民クラブ

福士 幸雄・工藤 和子  
佐々木 隆・後藤 秀憲

##### 視察先

奈良県生駒市  
三重県志摩市  
三重県玉城町  
(平成29年7月11～14日)

#### 【「少水力発電事業(生駒市)」 「20才を対象とした健診事業(志摩市)」 「ICTを利用した安心、元気なまち事業(玉城町)」について】

生駒市の少水力発電事業では、平成24年度に水道事業として全国初の再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用し、全量を関西電力へ売電しています。20年間で（建設、メンテナンス費用を差し引き）約8,000万円の利益を見込んでおり、年間108トンの温室効果ガスの削減にもつながっています。志摩市では、若者の元気生活応援プロジェクトとして若者に健診の料金を自己負担1,000円で実施している状況とその効果を視察しました。玉城町のICTを利用した安心、元気なまち事業では平成21年11月から東京大学大学院との共同研究により、利用者が事前に申し出た乗車場所や時間に車両が向かい希望する目的地まで運ぶオンデマンド形式によるバス運行の状況を視察しました。年齢や利用者の制限はなく、運賃は無料です。導入してから、高齢者の外出促進、通院による病気の早期治療、社会参加など多くの効果が見られるといいます。本市においても類似事業の導入を模索し、健康長寿のまちづくりにつなげていければと考えました。



生駒市の小水力発電機棟にて



# 第11回 「議会報告口会」 市民の皆さんと 意見を交換

7月22日の午後6時から黒石市議会報告会が開催されました。11回を迎えた議会報告会は、より市民の皆さんの意見を議会や市政に反映させるため、1部を議会報告会、2部を議員と語る会として、市民の皆さんとの話し合いの時間を増やしました。市内の高校にも案内をしたところ、黒石高校から15人の生徒が参加。一般の参加者は12人でした。

1部では北山一衛議長・工藤俊広副議長による3月、6月の議会報告と工藤和行予算特別委員会委員長・今大介同副委員長による平成29年度予算並び



議会報告会の様子

に重点事業の説明が行われました。

2部では初の試みとして「これからの黒石について」をテーマに議員と語る会が行われました。今回は多数の高校生の参加もあり、一般市民、高校生、議員を混ぜ、A、Bの2つのチームに分かれて、ざっくばらんに黒石について語り合いました。A、B両チームそれぞれに参加した人からは「小・中学校適正配置について建物の統廃合ばかりではなく子供達の学校生活環境についても、しっかり考えてほしい」、「もっと黒石らしさを出した独自の政策を」、「市ホームページで各観光地をさらにPRしてほしい」などの意見が出されました。また、2つのチームの高校生からは「黒石よさらば素晴らしい祭りだからリピーターを増やす工夫が欲しい」、「廃校となった小・中学校の校庭をスポーツ活動等で解放してもらおう事はできないか」、「黒石中学校へ自転車通学をしているが危険な箇所があるので安心して通学できるようにしてほしい」、「地元高校生と市政との交流を増やして欲しい」、「県立高校適正配置について校章はせめて

残してほしい。また、今ある同窓会や後援会等独自の機構を新しくするというのは難しいし悲しい」、「もっと若い人たちの意見を聞いてくれる機会を作ってほしい」、「こみせに



多数の高校生も参加

古くからあるお菓子屋を巡るツアーやスタンプラリーを行い、もっとこみせ全体を盛り上げる事を考えなくてはいけないと思う」など積極的な意見が出されました。

参加した議員もいつもとは違うフリートーク形式の中から出されたさまざまな意見を聞く事ができ、大変参考になったと思います。

市議会では、今後も市民の皆さんに議会、政治に関心を持っていただけるよう努めますので、次回の議会報告会も多数参加をよろしく願います。

## 「黒石市議会だより」表紙写真を募集します

皆さんに親しまれる議会だよりにするための取り組みとして、次のとおり表紙等に使用する写真を募集します。次号より掲載しますので、どしどしご応募ください。

- ◆応募資格…市内に在住、勤務、在学している人
- ◆応募作品…市内で撮影された風景、まつり、行事などのデジタル写真データ
- ◆応募方法…タイトル、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記の上、メール、郵送、持参してください。なお、応募作品は未発表のものに限ります。
- ◆提出先…〒036-0396 黒石市大字市ノ町11-1  
黒石市議会事務局 宛  
※郵送、持参の場合はCD-R等で提出してください。
- ◆メールアドレス…kuro-gikai@city.kuroishi.aomori.jp
- ◆注意事項…被写体の肖像権、著作権を侵害しないよう撮影者自身で被写体の承諾等を得てください。その他詳細は黒石市議会ホームページまたは下記の問い合わせ先にて確認してください。

## 編集後記

6月定例会において常任委員会、特別委員会が改選となり、議会だより編集特別委員も改選となりました。改選となったメンバーは大久保朝泰副委員長から工藤和行副委員長への交代のみで工藤俊広委員長をはじめその他の委員はそのまま残留という形となりました。メンバーがほぼそのままということで、これまでの経験を活かし、一人でも多くの市民の皆様にご利用まで以上に市議会を知っていただき身近に感じてもらえるような市民と市議会の架け橋となる議会だよりを目指し、委員一丸となって頑張っています。

三上 廣大

## 議会だより 編集特別委員会

委員長	工藤 俊広
副委員長	工藤 和行
委員	高橋 美紀
委員	今大介
委員	三上 廣大

## お問い合わせ先

### 黒石市議会事務局

〒036-0396  
黒石市大字市ノ町11番地1号  
電話 0172-5212129  
FAX 0172-5317410

